

指定管理評価表(園田東生涯学習プラザ)

令和2年3月31日現在

施設概要	尼崎市立園田東生涯学習プラザ(尼崎市東園田町4丁目12-4) 開館時間:平日、土日祝 9:00~21:00(休館日:水曜日・年末年始) 施設設置目的:教育基本法(平成18年法律第120号)第12条第1項の規定により奨励されるべき社会において行われる教育その他の生涯学習の拠点及び自治のまちづくりを支える拠点の提供 事業内容:園田東生涯学習プラザの使用に関すること及び施設の維持管理			
指定管理者の名称	尼崎中高年事業株式会社			
指定期間	平成31年4月1日~令和6年3月31日			
業務概要	園田東生涯学習プラザの管理業務①使用の許可、取消し等施設の使用に関すること、②使用料の徴収、減免及び還付、③施設及び供用備品の維持管理、④施設及び備品にかかる1件50万円未満の補修工事及び修繕、⑤利用状況等統計、その他			
利用状況等	項目名	令和元年度	平成30年度	平成29年度
	貸室利用者数	56,613 人	72,777 人	73,055 人
	貸室稼働率	42.31 %	45.66 %	47.47 %
	自主事業開催数	19 回	52 回	50 回
	自主事業参加者数	299 人	1,631 人	1,746 人
所管課・所管課長名	総合政策局園田地域振興センター園田地域課・松原 裕二			
評価対象期間	平成31年4月1日~令和2年3月31日			

評価項目	説明	評価	評価コメント
1 サービスの質の維持・向上		B	・生涯学習プラザになったことで、自主事業の考え方が変更され、また新型コロナウイルスの影響もあり、自主事業の開催が昨年より大きく減少した。 ・利用者アンケートは確実に実施しており、利用者の要望等の把握に努めている。
自主事業・指定事業	計画に沿って、積極的に自主事業・指定事業に取り組んでいるか		
サービス向上	サービス向上の取組みがされているか		
施設利用者数	施設利用者の掘り起こしがされているか		
利用者要望の把握	利用者要望の把握がされているか		
事業計画性、透明性	事業が計画的に、かつ透明性を確保して実施されているか		
住民・利用者の参画	住民または利用者とのパートナーシップを推進しているか		
2 適正な施設の管理		A	・施設の保守点検等は、適正に実施しており、消防訓練も年2回(6月・11月)、利用者と合同で実施している。 ・職員研修(パソコン研修)も企画し、職員の全員参加ができた。
施設保守・管理	施設の保守、管理が適正に実施されているか		
職員体制	合理的な配置か、責任体制が整った配置か		
危機管理	事故・緊急時の体制が十分に整備されているか		
個人情報管理	個人情報の管理が適正であるか		
職員研修	職員研修が十分に実施されているか		
3 収支・経費節減		A	植木の剪定を自主的に行っている他、再委託契約方法は、見積もり合わせによるなど適正な方法により実施されている。
収支状況	収支の状況が適正かつ良好であるか		
経費節減の取組	経費節減の取組みがされているか、		
4 指定管理者の経営状況等		A	30年度から引き続き、適正な会計手続きがなされている。
会計状況	適正な会計手続きがなされているか(監査報告書等による)		
経営状況	経営状況は良好か(貸借対照表、損益計算書等による)		
5 その他		A	文書類等の資料は適切に管理されている。
文書等の管理	文書類、帳簿、備品、資料等が適切に管理されているか		
評価の実施	内部評価を実施しているか		

指定管理者選定に係る事業計画書の主な取組内容	左記に関する取組状況とその取組に対する評価
【自主事業の実施】 「リサイクルバザー」(2回)、「空手口座」、「ハートフルシネマ」、「保冷剤を手作りしてみよう」(アコースティックギター)「親子リトミック」(生殖医療の最前線~人工授精から子宮移植まで)、「第5回sonodaハロウィン」(多言語的café)「木版画で年賀状を作ろう」(2回)「園田基遊会」(4回)「布あそび」(スポーツ吹矢)「PETIT CHU CHU」	・幅広い年齢層に対応した事業を企画実施している。 ・事業実施の際は、確実にアンケートを実施し利用者ニーズの把握に努めている。 ・登録グループと協働(タイアップ)で講座を開催し、新たな利用者の発掘及び登録グループの活性化に繋がっている。また、登録グループとの懇談会(5月)を実施し、今後の事業展開など意見交換を図りながら連携、協力するなど信頼関係の構築にも寄与している。

総合評価	総合評価の理由、今後の課題等
A	・受付の対応は、迅速かつ温かみがある印象で、利用者が信頼して利用できる施設として適正な運営がされていると感じる。 ・利用者ニーズの把握(登録グループとの懇談会、利用者との情報交換、自主事業の際のアンケート実施、ホームページでの意見募集、利用者へのアンケート実施)を様々な手法で行いサービス向上に努めている。登録グループと協働(タイアップ)した講座の開催にも取り組んでいる。 ・地域住民による玄関先のプランターの植え替えなど、地域の身近な施設として、地域と協働しながら施設の維持等が図られている。また、施設周辺の環境の向上にも努めている。 ・新型コロナウイルスへの影響による施設の利用制限が掛かる中、非常時にも迅速に対応できる職員体制がなされている。 ・自主事業の実施開催数は減少しているが、今後も内容を精査する中で、利用率向上を目指し積極的に検討を進めていることから、総合評価はAとした。

※ 評価は、A~Eの5段階評価とする。

※ 確認調査の結果をチェックリスト等に記入する。更に1~5の大項目ごとに評価を行った後、総合評価を行うこと。

※ A:非常に良好である又は非常に成果があった。 B:やや良好である又はやや成果があった。 C:取組状況の水準が普通である。

D:やや改善の余地があった。 E:多くの改善すべき点が見受けられる。